概要 summary

断面修復工法とはコンクリート構造物が塩害や中性化等によって浮きやはく離が生じた場合、劣化部や劣化因子が侵入した箇所をはつりとり、断面修復材を使用して元の断面に復旧する工法です。断面修復の方法として、左官工法、充てん工法、吹付け工法等があります。

【 左官工法 】

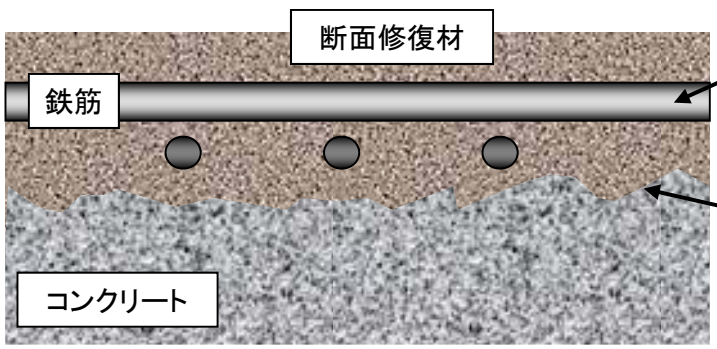
【 充てん工法 】

【 吹付け工法 】

特 長

劣化因子の除去	劣化因子が侵入したコンクリート部や腐食した鉄筋の錆を完全に除去することが可能です。
確かな性能確保	使用する断面修復材は既設コンクリートと同等以上であるので補修部分は建設時の性能以上とすることが可能です。
広汎な適用性	あらゆる劣化原因、あらゆる劣化程度に対応が可能で、適用範囲が広いです。
数多くの実績	他の補修工法と併用される実績が最も多い工法で安心して適用できます。

一般形状 general view



防錆剤塗布

鉄筋腐食による再劣化抑制を目的として塗布します。

プライマー塗布

既設コンクリートとの付着力向上を目的として塗布します。

手順 sequence

【 充てん工法の例 】

①コンクリートはつり

②防錆剤塗布

③型枠設置

④モルタル充てん